

不当な攻撃を許すな！！

組織破壊攻撃粉碎決起集会を開催

私たち東二運分会は、5月22日大崎第一区民集会所で「組織破壊攻撃粉碎決起集会」を開催しました。集会には、組合員約50名が参加し東二運分会の役員を狙い撃ちにした異常な添乗、不当処分、再教育を通じた組織破壊攻撃を粉碎していくことを全員で確認しました。

主催者を代表して川野組織部長から「分会役員を狙い撃ちにした組織破壊攻撃を断固跳ね返していく決意を打ち固める場にしよう。福島原発事故の対応も含めて労働組合の価値観が問われている。『命令と服従・規律と忠誠心』の異常な労務管理を許さず、職場から声を出し闘おう。そして報復処分撤回裁判に勝利しよう。」と挨拶がされました。

一連の動向は、明らかに組織破壊を意図した攻撃だ！

当事者それぞれよりの挨拶のなかで、斉藤書記長は「組織破壊攻撃の中、分会執行部、組合員は強化された。報復処分撤回裁判勝利に向け先頭で闘う。」、内村副分会長は「小川営業科長の悪評は関連会社でも知れ渡っている。職場から闘いをつくり出そう。」、尾崎副分会長は「新たな職場で闘っている。今後も職場で苦勞している仲間と共に闘っていく。」、庭山分会長は「一連の攻撃にはすべて小川営業科長が関わっている。組織破壊を意図した攻撃として捉えなければならない。執行部の先頭として組合員と共に闘っていく。」、広瀬執行委員は「今回の事象での再教育は納得できない。断固として闘う」、と闘う決意を表明しました。

集会には、本部・地本をはじめ多くの来賓がかけつけていただき「東二運分会にかけられている攻撃は、J R 東海労全体に掛けられている攻撃だ。全組織一丸となり闘っていく。」との力強い連帯の挨拶をいただきました。

東二運分会は、今集会で組合の弱体化を狙ったあらゆる攻撃にも屈することなく組合員一人ひとりが職場から声を出し、報復処分撤回裁判勝利！安全で働きやすい職場をつくるために全組合員で闘っていきます！